

研修の目的

本研修は、DX採択校として求められるICT活用力を高め、「情報」・「総合的な探究の時間」で生徒の創造的アウトプットを引き出すことを目的とする。具体的には、Canva等の汎用ツールを使ったスライド資料・ポスター制作に加え、生成AIや共同編集機能を活用した課題解決型学習を設計できる指導力を養成。また、評価基準策定や成果共有の方法を学び、校内で再現可能なテンプレートとアイデアを獲得することで、教員自身がファシリテーターとしての自信と実践力を身に付ける。さらに校外連携や成果発信の視点を取り入れ、地域・企業との協働プロジェクト創出へとつなげる素地を整える。

研修構成

1 導入

- ・本講座の目的と全体の流れ
- ・協働学習や探究活動を加速させる「学習基盤」としてのCanvaの可能性

2 Canvaの基本操作①テンプレート

- ・Canvaの基本操作 & テンプレートの探し方

3 Canvaの基本操作②テキスト・色・素材

- ・テンプレートをカスタマイズしてスライド資料やポスターを作る
- ・テキスト・色・素材の操作と活用

4 デザインの基本知識

- ・レイアウトと配色のコツ

5 作品の発表 & 共有

- ・完成作品の発表・共有

6 評価のものさし

- ・Canva活用における評価の示唆（評価のものさしの言語化）
⇒評価の具体例

7 まとめと質疑応答

- ・Canva以外のお勧めツール紹介（背景リムーバーできるサイトなど）
- ・上級者向けのTIPS ・生成AIについて
- ・今日の研修を学校で再現するためのコツ（複数回実施時の案など）

このような先生にお勧め

- ・探究活動の成果物にバリエーションを持たせたい先生

研修のゴール

- デジタルクリエイティブ人材として、目的に応じた効果的なデザインでスライドやポスター等を制作するためのノウハウを理解すること。
- Canvaでデザインを行うことで基本的な仕組みや機能を理解し、学校生活（教科教育、課外活動）に役立てるようになること。
- Canva活用における知識及び技能、思考力・判断力・表現力、学びに向かう力における評価のものさしの言語化ができるようになること。

研修の内容と進め方

- 講義 + Canvaを活用したワーク（90分）

必要機材・受講生の持参物

- Canvaのアカウント（無料版、有料版どちらでも構いません）
アカウントの作り方：https://www.canva.com/ja_jp/help/sign-up-log-in/
- PC（PCでCanvaを操作します）
- 通信環境、PC電源

副教材・参考資料

- ・投影資料（配布可能なものに限定）

研修の内容と所要時間について

研修構成の1～7までを全て実施した際は所要時間75分を想定している。

高校の授業50分で実施する際には教員向けの評価についての内容（6 評価のものさし）は割愛するので、まとめと質疑応答と併せて50分で終了する想定。

補足①(3段階評価の例)

評価の示唆（評価ものさしの言語化）

知識及び技能（学習内容に関する知識・技術）

- A：Canvaの複数機能を組み合わせ、意図した通りのデザインを効率的に作成できている。
- B：基本的な機能を使って、目的に沿ったデザインを作成できている。
- C：基本的な機能の操作に課題が見られる。

思考力・判断力・表現力（問題解決力、コミュニケーション能力など）

- A：設定された課題の本質を捉え、デザインコンセプトを明確にし、その意図を第三者に論理的に説明できる。
- B：課題に沿ったデザインを作成し、その意図を説明できる。
- C：課題とデザインの関連性が不明瞭であり、意図を説明することが難しい。

学びに向かう力（学習への意欲、姿勢、人間性など）

- A：自ら課題を見つけて解決しようとする姿勢があり、他者の作品から積極的に学びを得ようとしている。
- B：与えられた課題に真摯に取り組み、完成させようと努めている。
- C：学習への意欲が低く、積極的に活動に取り組んでいる様子が見られない。

補足②(複数回授業実施の例)

3回で授業実施の例（部活動紹介ポスター）

第1回 Canvaの基本操作とデザインのアイデア出し

- ・Canvaで使えるテンプレートや素材の検索
- ・自分が所属する部活動の魅力をどう伝えるか、アイデアを出し合う

第2回 デザイン制作（グループワークも可）

- ・アイデアに基づき、Canvaでポスターを制作
- ・部活動の仲間と共同でデザインを進める

第3回 作品発表・講評

- ・完成したポスターを発表
- ・「一番入りたいと思わせるポスターはどれか？」を基準に相互評価